

日岡山公園周辺地区まちづくり構想

平成29年3月

加古川市

背景と目的

本市では、「加古川市総合基本計画」において JR 日岡駅周辺地区を地域の拠点に、また、日岡山公園周辺地区をレクリエーション等の拠点と位置づけています。

さらに、日岡山公園の周辺には、日岡神社や日岡御陵などの歴史的資源が多く分布しており、とりわけ、日岡御陵は、記紀神話（古事記及び日本書紀）において登場する日本武尊（やまとたけるのみこと）の母とされる播磨稲日大郎姫（はりまのいなびのおおいらつめ）の陵墓とされています。また、春のお花見シーズンには、桜の名所として多くの人々が訪れています。しかしながら、「こども広場」や「いこいの広場」の利用は少なく、認知度も低い状況にあります。

そのため、こどもや家族などが安心して楽しく過ごすことができる「こどもたちの夢はぐくむ公園」としてリニューアルするとともに、既存のスポーツ施設や周辺の歴史的資源などを最大限に生かし、公園と周辺地域が一体となった魅力あるまちづくりを進める必要があります。

そこで、アンケート調査や、関係する各種団体等へのヒアリングを踏まえ、日岡山公園周辺地区におけるまちづくりの基本方針を示す「日岡山公園周辺地区まちづくり構想」を策定しました。

アンケート調査

市民ニーズの把握

調査日

平成28年10月14日(金)～10月31日(月)

対象者

市内に在住する18歳以上の市民3,000人
(無作為抽出)

回収率

37.8% (1,133人)

主な調査結果

- ・利用目的の大半は「桜などの花見」
- ・来園頻度は年に数回程度
- ・来園者の交通手段の大半は自家用車
- ・自然や緑の量に魅力を感じているものの、衛生施設、案内標識等に不満
- ・日岡山公園周辺には、飲食・買い物等ができる複合施設が必要
- ・自然を生かした大人も遊べる遊び場が必要

周辺市町からの来訪者ニーズの把握

調査日

平成28年11月9日(水)～11月11日(金)

対象者

- ・加古川市周辺市町（明石市、高砂市、三木市、加西市、小野市、稲美町、播磨町）に居住される方（412人）

主な調査結果

- ・公園の利用頻度、認知度は低い。
- ・利用目的は「桜などの花見」が多い。
- ・車で来園する際に公園の場所（入口や駐車場）がわかりにくく、不便に感じる人が多い。
- ・日岡山公園及びその周辺には、飲食・買い物等ができる複合施設が必要

各種団体等へのヒアリング

日岡山公園区域に隣接する町内会をはじめ、日岡山公園に関係する各種団体等を対象にヒアリングを実施しました。

【主な意見（抜すい）】

- ・こどもたちがワクワクするような遊具のほか、健康遊具などもあればよいと思う。
- ・道路からの見通しが悪く、暗い場所も多いので防犯上の配慮が必要である。
- ・日本武尊に関する神話や、播磨稲日大郎姫の陵墓である日岡御陵などの歴史的資源を有効に活用すればよいのではないかと。
- ・緑化活動をはじめ、市民等と協働した取組を進めることが、まちづくりには必要であると思う。
- ・既存スポーツ施設等と連携した取組に、ぜひ協力したい。
- ・日岡山公園の整備にあわせ、地域の拠点となるJR日岡駅はリニューアルが必要である。
- ・トイレや遊歩道のバリアフリー化など、誰もが利用しやすい環境整備が必要である。
- ・災害発生時の防災拠点としての機能について配慮が必要である。

まちづくりのコンセプト

こどもから高齢者まで多世代が

“夢をはぐくむ” ことのできる舞台づくり

- ・緑豊かな自然や多くの歴史的資源、スポーツ施設等と連携を図りつつ、こどもから高齢者までの多様化するニーズに応じた、誰もが気軽に訪れ、楽しむことのできる公園をめざします。（ハード整備とソフト面の連携）
- ・また、日岡山公園は、阪神甲子園球場の約9倍もの敷地面積を有しており、緑化活動やイベントの開催など、様々な活動の場としての利用も想定されます。このため、町内会をはじめとした地域コミュニティ団体やボランティア団体、民間事業者、NPO法人等との協働により、本市の地方創生の一翼を担う拠点づくりを進めます。（協働によるソフト面の充実）

まちづくりの基本方針

(1) こどもたちの夢をはぐくむ空間づくり

こどもが安全に遊ぶことのできる遊具や広場を再整備し、こどもや子育て中の親などが、ともに安心して遊び、憩える空間（施設や場所）を提供します。

(2) 多世代が集い、健康づくりやスポーツ活動などを行える空間づくり

こどもや高齢者、勤労世代など多世代が、健康づくりや交流、スポーツ活動などを行える空間を提供します。

また、市民の遊び場や憩いの場として生活に潤いと安らぎ、癒しを提供するため、多世代がレクリエーションの拠点として利用できる空間を提供します。

(3) 誰もが訪れやすく、長く滞在できる回遊性の高い空間づくり

各方面からの来園者数の増加をめざし、案内板やアクセス道路の整備を進めるとともに、情報発信の強化を行います。また、長く滞在でき、回遊性を高めるための空間づくりを進めます。

(4) 気軽に自然・歴史的資源にふれあえる空間づくり

利用者が自然環境や歴史環境に親しめるよう、公園内に案内板等を適切に設置します。また、各ゾーンへの主たる歩行者動線等は、バリアフリー化を図るとともに、照明灯を適切に配置するなど、安全に安心して利用できる歩行空間を確保します。

(5) 地域の防災力を高める空間づくり

防災拠点や災害発生時の一時避難場所としての役割を果たす公園として必要な機能を整備します。

日岡山公園周辺地区のゾーニング（将来）



(注) 現有施設との重ね図となっています

アクセス・動線計画

アクセス道路・JR 日岡駅

日岡山公園への主なアクセス道路として、「市道西之山水足線」「市道日岡刑務所線」を位置づけます。これらのアクセス道路では、自動車で来園される方の視認性（視距）の確保や歩道整備等による歩車分離を図るなど、走行性・安全性の向上をめざします。

特に、市道日岡刑務所線は、現状は歩道がなく、急なカーブがあるため、自動車で来園できない方も安心して利用できる、安全・安心な歩行空間の確保をめざします。

また、JR 日岡駅舎等のリニューアルの可能性や案内板の設置を検討します。

【今後の展開】

- 市道西之山水足線の道路改良（新設）
- 市道日岡刑務所線の道路線形の検討
- 市道日岡刑務所線への照明灯の設置や、歩車分離の実施の検討
- JR 日岡駅舎等のリニューアルの可能性の検討
- JR 日岡駅から日岡山公園までの動線及び公園施設についての案内板の設置の検討



メイン歩行者動線

メイン・サブエントランスや各ゾーンを周遊できる連続した園路を「メイン歩行者動線」と位置づけます。この動線では、来園されるすべての方が歩きやすいバリアフリー化された動線を確保します。また、現状の桜並木との連続性を図り、桜の見どころとしての維持・向上をめざします。

【今後の展開】

- 公園全体の配置がわかる案内板の設置
- 施設の場所を示す誘導標識等の設置
- 照明灯の適切な配置
- 老朽化した桜の植え替えの実施
- メイン歩行者動線への桜並木の整備
- メイン歩行者動線沿いには、ベンチや健康遊具等の設置の検討（ベンチ等の休憩施設は、寄付制度を導入し、それを示すプレートの設置）、及びこどもと一緒に大人も楽しめる動線の検討（アスレチック遊具の配置等）



主な散策路

日岡山公園には、展望所に向かう散策路をはじめ、様々な散策路がありますが、園内に数多くある自然・歴史的資源等にふれあい、散策される方が日岡山公園の魅力を楽しみながら移動できる動線づくりをめざします。

【今後の展開】

- 歩きやすい動線の確保
- メイン歩行者動線と同様に、ベンチや遊具、誘導標識等の設置の検討

案内・誘導計画

日岡山公園は本市の中心部に位置しているものの、周辺道路からわかりにくい場所にあります。そのため、市民及び周辺市町の住民等による公園の利用頻度、認知度を高められるよう、主要道路に誘導標識を設置することなどにより、案内・誘導の強化を図ります。

【今後の展開】

- 日岡山公園への案内誘導標識等の設置

各ゾーンのまちづくりの考え方及び今後の展開

多世代交流・プレイゾーン

多世代の多様なニーズに応じたリニューアルをめざす「こども広場」と「いこいの広場」等を「多世代交流・プレイゾーン」と位置づけます。このゾーンでは、特に、子育て世代のニーズに対応するため、大型複合遊具や、フィールドアスレチックの要素を取り入れた遊具の設置、親水空間の確保、バーベキューが可能な広場の確保について検討し、多世代が交流できる土地利用をめざします。

また、東播磨地域における広域防災拠点等としての機能の確保を図ります。

【今後の展開】

- 大型複合遊具やフィールドアスレチックの要素を取り入れた遊具、健康遊具等の設置の検討
- バリアフリー・ユニバーサルデザインに配慮した衛生施設（トイレ・手洗い場等）の整備
- ウォーキングやジョギングにも利用できる歩行者動線の確保
- 芝生広場の整備
- バーベキューエリアの確保（移設）
- 休憩施設（ベンチや、あずまや等）の設置（ベンチ等の休憩施設は、寄付制度を導入し、それを示すプレートの設置）
- 親水空間の確保の検討
- 防災拠点としての機能の確保



エントランス・憩いゾーン

駐車場に隣接するゾーンにもエントランスを新たに整備し、これまでのエントランスとあわせ、「エントランス・憩いゾーン」と位置づけます。

特に、新たに整備するエントランスは、日岡山公園の顔（メインエントランス）としての機能強化や、各ゾーンを回遊する動線軸の起点としての整備をめざします。一方、現在の2箇所のエントランスはサブエントランスとして、メインエントランスを補完する入口とします。

【今後の展開】

- 公園管理事務所をメインエントランスに配置（公共施設等総合管理計画と整合を図りつつ、現公園管理事務所は、建物の有効活用方法の検討）
- バリアフリー・ユニバーサルデザインに配慮した衛生施設（トイレ・手洗い場等）の整備
- コンビニエンスストアや飲食等の利便施設、あわせて親子連れの来園者等が、子どもを見守りながら休憩できる施設の導入の検討（民間活力の導入）
- 総合案内板や、案内誘導標識等の設置
- バスの利便性の向上とあわせ、バス停留所の待合環境の整備の検討



食育ゾーン

日岡山公園に隣接し、新たに整備する市道西之山水足線と加古川刑務所に囲まれた用地を「食育ゾーン」と位置づけます。

このゾーンには、食育についての情報発信、地域交流、研修等の機能を備えた学校給食センターを整備することにより、家庭や地域と連携した食育の推進を図ります。

また、防災資機材や物資の備蓄など、災害発生時に備えた機能についても検討します。

【今後の展開】

- 食育機能を有した学校給食センターの整備
- 災害発生時に備えた備蓄等の検討

自然・歴史体験ゾーン

日岡神社や日岡御陵をはじめとした歴史的資源や、多くの自然林が残る日岡山公園西側を「自然・歴史体験ゾーン」と位置づけます。このゾーンでは、地域活動団体等と協働し、明るい森、多様な生き物をはぐくむ森の維持・保全をめざすとともに、既存施設の有効活用を図り、来園者が自然・歴史的資源にふれあえる環境づくりをめざします。

【今後の展開】

- 地域活動団体等と協働した自然体験プログラム等の実施の検討
- 来園者が歴史的資源に興味や親しみを持てるような案内板の設置
- 歴史的資源の効果的な情報発信方法の検討
- 春以外のシーズンにも来園者を呼び込むことができる取組の検討
- OAA はりまハイツとの連携強化（野外活動プログラムの充実等）



スポーツ・交流ゾーン

野球場、体育館、武道館等の既存スポーツ施設がある日岡山公園北部等を「スポーツ・交流ゾーン」と位置づけます。このゾーンでは、市民をはじめ誰もが身近なスポーツに親しむことができるよう、スポーツ環境の維持・充実を図ります。

【今後の展開】

- スポーツ・レクリエーション活動の普及・促進
- 指定管理者制度など民間活力の導入による効果的・効率的な事業展開
- 公共施設等総合管理計画を踏まえた、既存スポーツ施設の計画的な維持・管理等
- ニュースポーツ施設等の整備の可能性について検討



駐車場・多目的ゾーン

新たに整備する市道西之山水足線に隣接する既存駐車場と仮設駐車場や、育苗園・グラウンド周辺の駐車場を「駐車場・多目的ゾーン」と位置づけます。このゾーンでは、自動車等で来園される方の駐車場として利用するだけでなく、東播磨地域における広域防災拠点等として求められる機能を確保します。

【今後の展開】

- 各駐車場の名称表示と、案内誘導標識の設置
- 身体障がい者用駐車スペースの確保
- 大型バスの駐車スペースの確保
- 市道西之山水足線の隣接部は、現駐車場の利用状況を踏まえた台数の確保（駐車場の立体化等も検討）
- 自転車駐車場（駐輪場）の確保
- 防災拠点としての機能の確保

